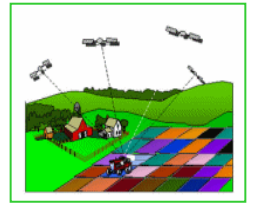


北海道情報化農業ニュース

北海道における持続的な農業の発展のための情報技術の活用促進
およびその健全な普及を図る。



● 「高度情報化農業セミナー」の開催案内 ● ● ●

号外 2014. 01. 10

北海道高度情報化農業研究会主催の「高度情報化農業セミナー」を開催いたしますので、お知らせします。

高度情報化農業セミナー 「北海道農業の近未来と農業情報利用技術への期待」

■趣 旨

ここ数年の日本の農業を取り巻く状況の変化、すなわち国際的な市場開放の圧力、補助金に関する農業政策の転換、担い手の不足などによって、農地の大規模化、耕作放棄地などの有効活用、生産性の向上や効率性の高い営農形態への対応が求められております。このような農業情勢などを背景として、ITを活用した農業機械の利用が有用な技術として農家に認知され、農業現場における導入台数が急速に伸びております。

今般、今後の北海道農業の姿を展望し、ガイダンスシステムやリモートセンシング技術を導入した農業の展開方向について、関係機関や団体の担当者及び農業生産法人等を対象としたセミナーを開催し、農作業の効率化や質の向上などについて解説するとともに、活用事例を紹介いたします。

- 日 時：平成 26 年 2 月 21 日（金）14：30～17：30
- 場 所：北農健保会館 3 階会議室（札幌市中央区北 4 条西 7 丁目 1-4）
- 主 催：北海道高度情報化農業研究会
- 共 催：北海道

■講 演

- (1) 基調講演
「北海道農業の近未来と農業情報利用技術への期待」
北海道立総合研究機構農業研究本部 北見農業試験場 場長 志賀 弘行 氏
- (2) 事例発表
「本別町における可変施肥技術等精密農業の実践について」
前田農産食品 合資会社 専務取締役 前田 茂雄 氏
- (3) 話題提供
「農業分野におけるリモートセンシングの活用」
酪農学園大学農食環境学群環境共生学類 准教授 小川 健太 氏

- 対 象 者：会員、農協担当者、行政関係者、一般の方
- 参 加 費：会員は 1,000 円、非会員は 2,000 円（学生無料）を会場にて申し受けいたします。
- 定 員：90 名（定員になり次第締切させていただきます。）
- 申し込み期限：平成 26 年 2 月 14 日（金）

※詳細につきましては、別紙開催要領を御覧ください。

＜発行＞北海道高度情報化農業研究会
 事務局：館山 則義
 〒060-0005 札幌市中央区北 5 西 6-1
 公益財団法人北海道農業公社 総務部
 TEL：011-241-7551 FAX：011-271-3776
 e-mail：tateya@adhokkaido.or.jp

編集委員：丸山 健次（酪農学園大学）
 TEL&FAX：011-388-4864